



受動喫煙について 知ろう!

?

受動喫煙ってなに？

タバコの煙には体に悪いものがたくさん入っています。
自分以外の人が吸っているタバコの先から出る煙（副流煙）や、
その人が吐き出す煙（呼出煙）を吸い込んでしまうことを
「受動喫煙」といいます。



けむい
モン

受動喫煙をなくすために
生まれたキャラクター

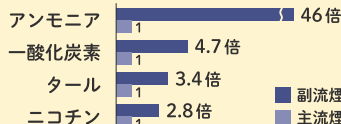
Q1 タバコの先から出る煙（副流煙）は体に悪いの？



タバコを吸い込む煙（主流煙）よりも、タバコの先から出る煙（副流煙）の方が有害物質が多く含まれます。

副流煙に含まれる
おもな有害物質

- アンモニア** 目を刺激する
- 一酸化炭素** 酸素不足を招く
- タール** ヤニ、発がん物質になる
- ニコチン** 血流を悪くさせる



副流煙の方が
有害物質の
量が多い!

Q2 子どもが受動喫煙すると どんな影響があるの？



「中耳炎」、「むし歯」、「ぜんそく」になりやすくなります。他にも、「乳幼児突然死症候群（赤ちゃんが突然死んでしまう病気）」になってしまうこともあります。子どもの頃だけでなく、大人になってからも病気になるやすくなってしまいます。

Q3 タバコを吸った後も 臭いのはなんで？



タバコを消した後も、タバコを吸っている人の服や髪にタバコの成分が付いているからです。服や髪に付いたタバコの成分を吸い込むことを三次喫煙といいます。目に見えない三次喫煙も注意が必要です。

Q4 火を使わないタバコなら 受動喫煙にならないの？



火を使わないタバコ（加熱式タバコ）であっても、吐き出された息に有害物質が含まれているので、受動喫煙が起こり得ます。



大人の方へ
子どものそばで
タバコは吸わないで!

子どもは受動喫煙による健康影響が大きいので、特に配慮が必要です。お子さんがいる場合は、家庭内での喫煙を控えてください。他にも、子どもが多く利用する公園や学校・保育園の周辺などでは、タバコの煙が子どもに届いていないか意識しましょう。